

株式会社アサカ理研  
FY2019 事業説明会



2019年12月13日

【証券コード】  
東証JASDAQ : 5724

# 0 沿革と企業理念

---

## 1 貴金属事業

---

## 2 レアメタル事業

---

## 3 今後の見通し

---

# 0 沿革と企業理念

- アポロ11号の月面着陸



出所：朝日新聞

- 「サザエさん」放送開始
- 「ドラえもん」連載開始
- 「水戸黄門」放送開始
- 金田正一投手 400勝達成

# 高度経済成長期

# 1969年

1967年 公害対策基本法 成立

1968年 大気汚染防止法 成立

政府がイタイイタイ病、  
水俣病を公害と認定

公害問題が顕在化

# 創立

大量生産・大量廃棄の時代  
見向きもされなかった廃棄物に  
ビジネスチャンスを見出した

資源の有効活用

環境保全

収益化



# 沿革



# 企業理念

豊かな創造性を発揮し  
社会貢献を果たす

# 1 貴金属事業





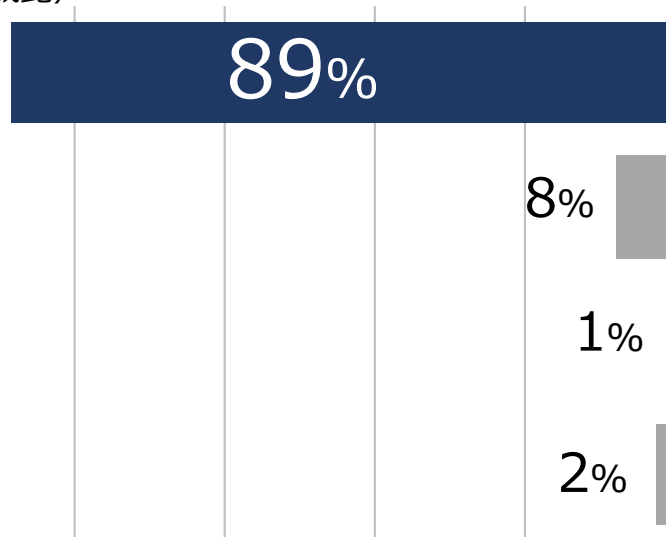
## 都市鉱山からの 希少金属回収

- ✓ 有価金属回収・精製
- ✓ 精密洗浄による治具再生
- ✓ レアメタルの回収・精製

＝  
＝  
当社における  
**最主力事業**

売上高

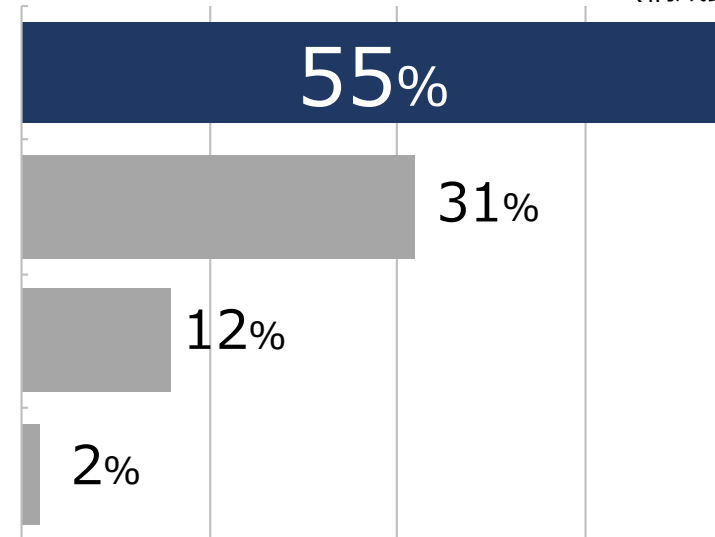
(構成比)



## 貴金属事業

セグメント利益

(構成比)



# 金の希少性



(2018年) 埋蔵量 <sup>※1</sup>  
54,000 t

(2018年) 新産金 <sup>※1</sup>  
3,260 t/年

$54,000 \text{ t} \div 3,260 \text{ t/年} = 16.5 \text{ 年}$

(2018年) 再生金 <sup>※2</sup>  
1,172 t/年

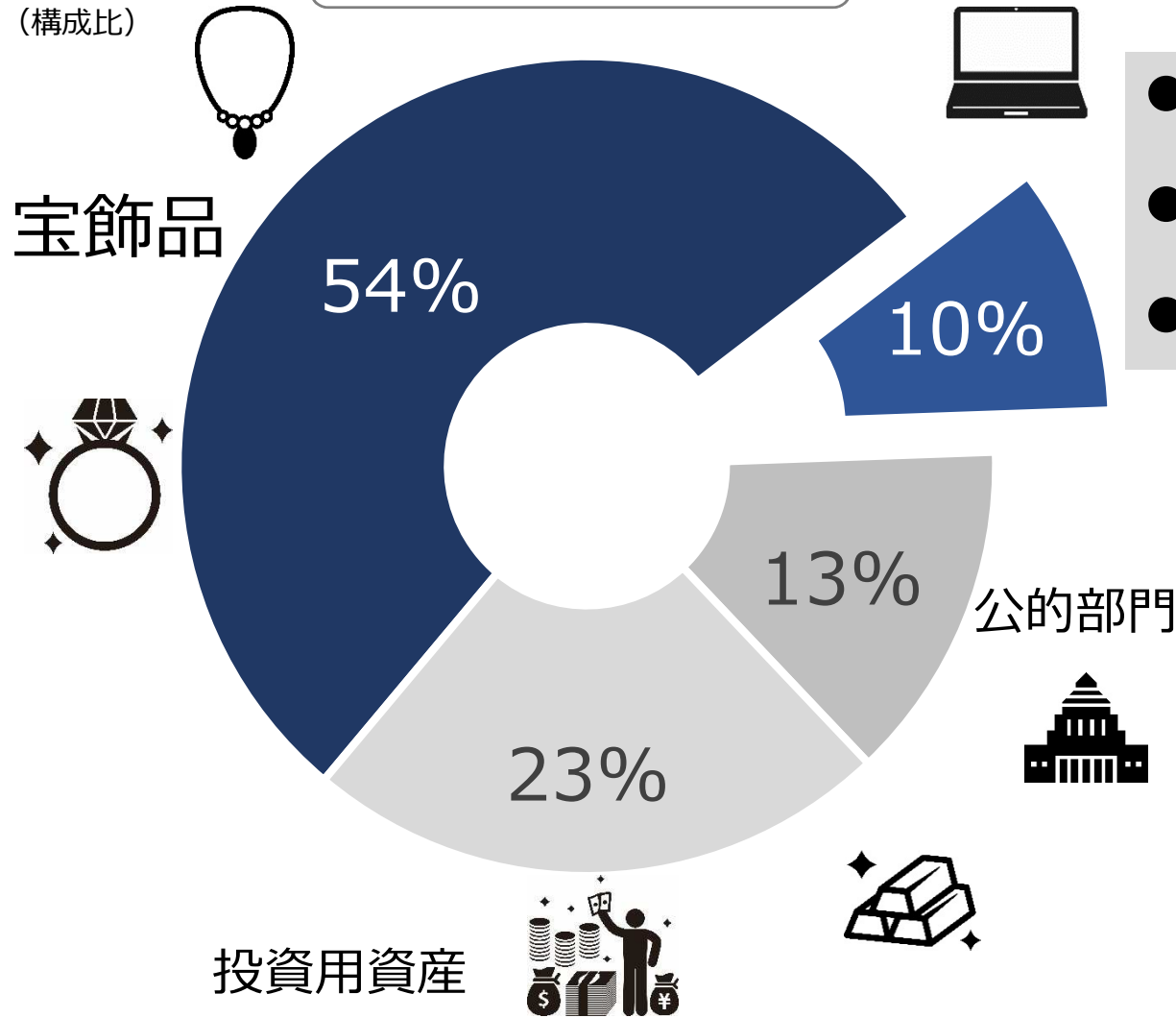
リサイクルの重要性が高まる

出所 ※1 U.S. Geological Survey  
※2 WORLD GOLD COUNCIL

# 金の主な用途

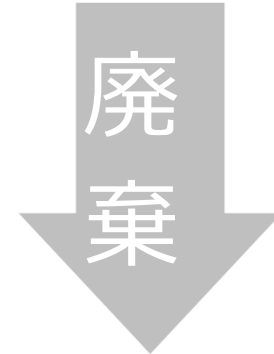
## 2018年需要割合

(構成比)



## 工業用加工

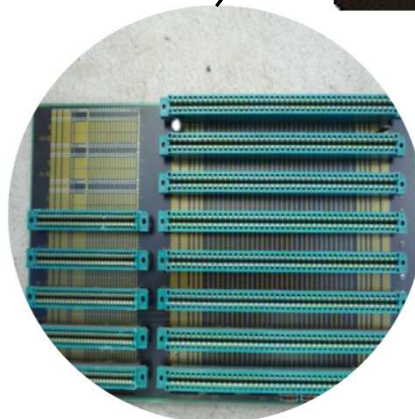
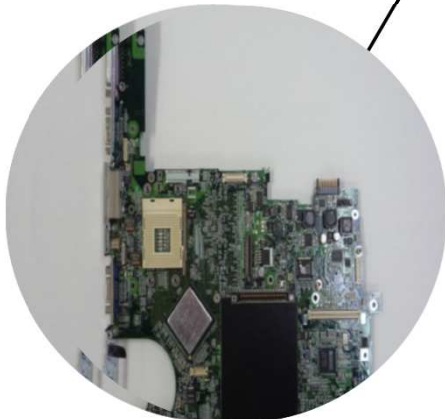
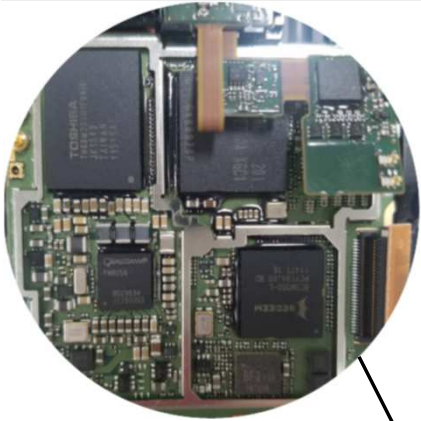
- エレクトロニクス
- 歯科・医療
- その他工業



# 都市鉱山

出所 : GFMS GOLD SURVEY 2019

# 工業用途の具体例



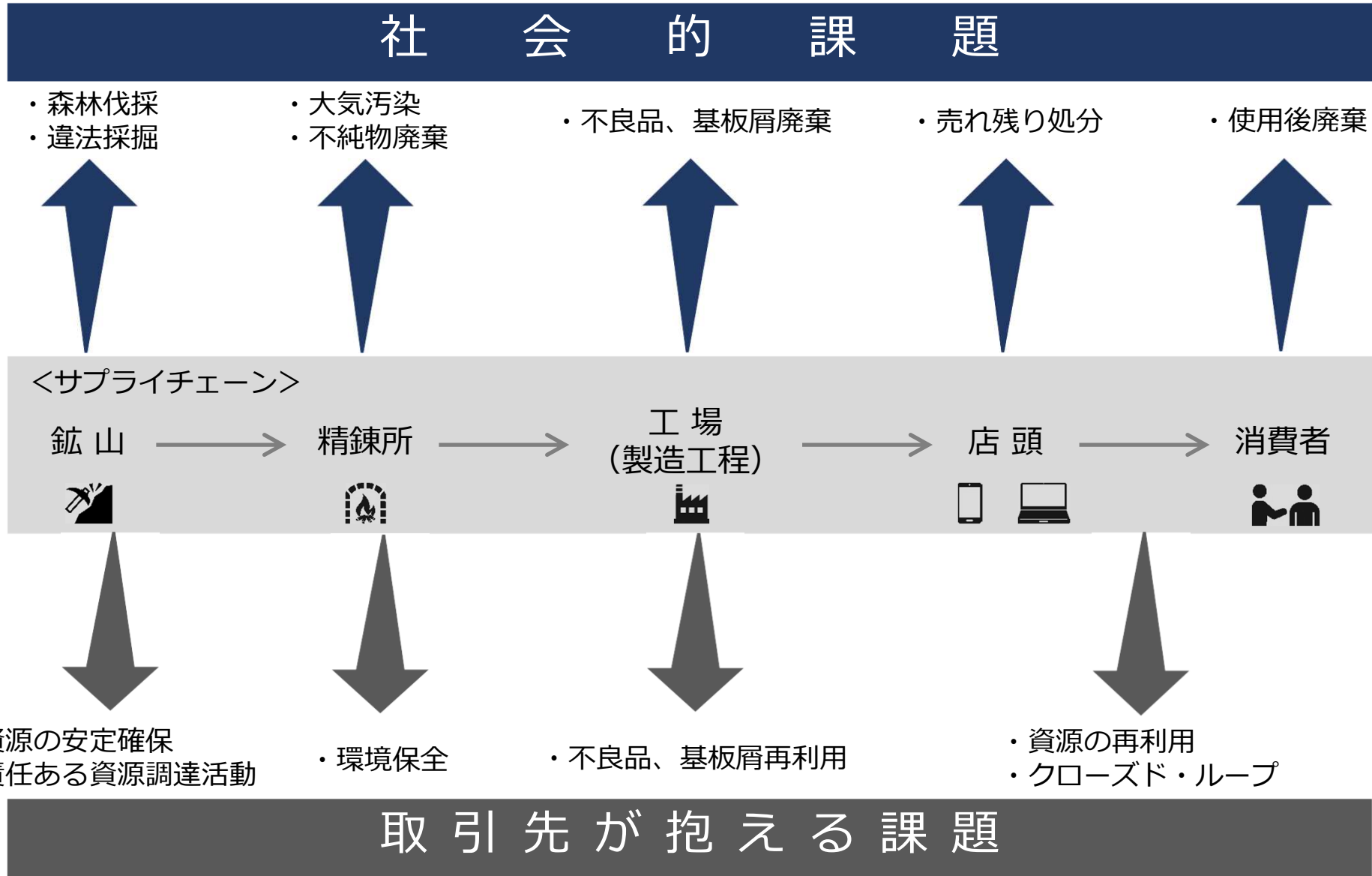
# 金の販売価格

## 販売価格推移



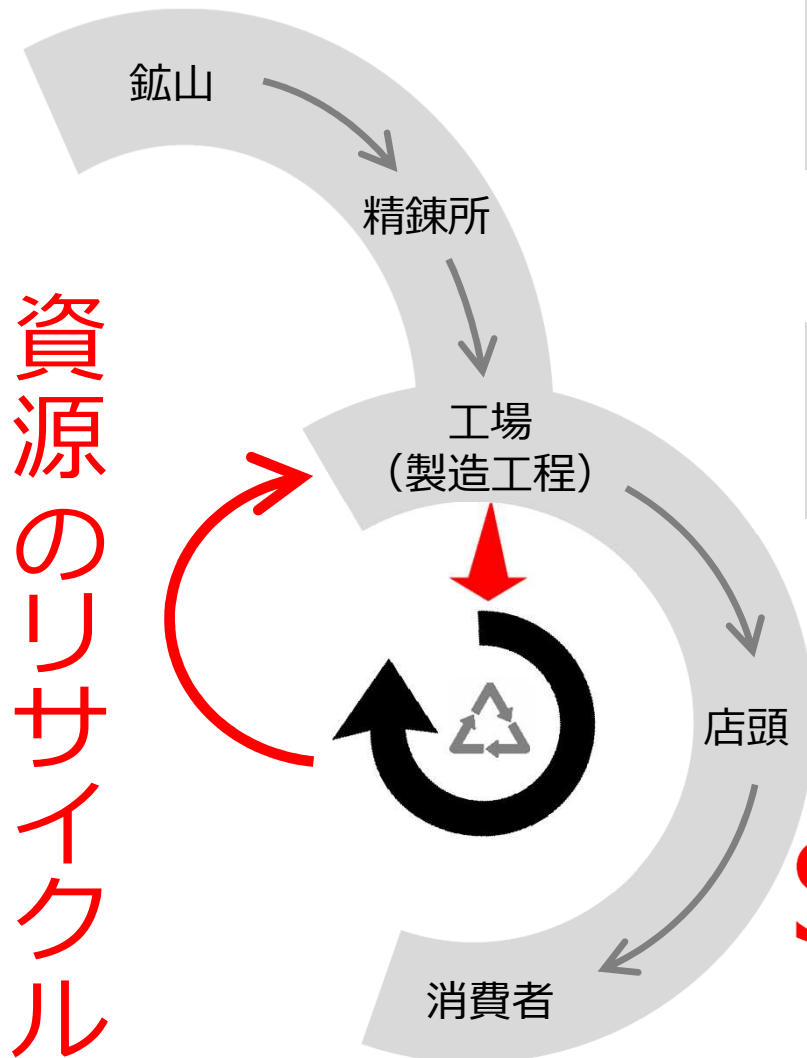
出所：田中貴金属工業株式会社

# 社会的課題と取引先が抱える課題



# 当社が提供する価値

## <循環型サプライチェーン>



## 提供する価値

RMAP認証  
取得・順守

※RMAP(Responsible Minerals Assurance Process)  
= 責任ある鉱物保証プロセス

都市鉱山からの  
資源回収

## 解決する課題

- ✓ 違法採掘
- ✓ 責任ある資源調達活動
- ✓ 資源の安定確保
- ✓ 環境負荷の軽減
- ✓ 資源の有効活用
- ✓ クローズド・ループ実現

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# SDGs達成に貢献

## 取引先ニーズ

### 高回収率

- 回収ロス抑制

製造原価低減

### 短納期

- 成膜装置
  - 予備部品数縮小
- 貴金属材料
  - 在庫負担軽減

設備負担軽減

資金繰り効率化

### 高品質洗浄

- 成膜装置
  - 付着不純物除去
  - ダメージ軽減

製品品質向上

設備負担軽減

競争力に直結



# 独自のコア技術

## 取引先ニーズ

### 高回収率

- 回収ロス抑制

### 短納期

- 成膜装置
  - 予備部品数縮小
- 貴金属材料
  - 在庫負担軽減

### 高品質洗浄

- 成膜装置
  - 付着不純物除去
  - ダメージ軽減

## 独自のコア技術

### 分離・精製技術

- スピーディな回収精製
- 高い回収率
- 他社に先駆け実用化

### 選択的剥離技術

- 独自の薬液配合
- 溶解速度コントロール
- 母材を傷めない

# 独自のコア技術

## 取引先ニーズ

高回収率

短納期

高品質洗浄

## 独自のコア技術

### 分離・精製技術

- スピーディな回収精製
- 高い回収率
- 他社に先駆け実用化

### 選択的剥離技術

- 独自の薬液配合
- 溶解速度コントロール
- 母材を傷めない



水晶 = 「産業の塩」

様々な用途で使用

水晶業界で  
高い支持



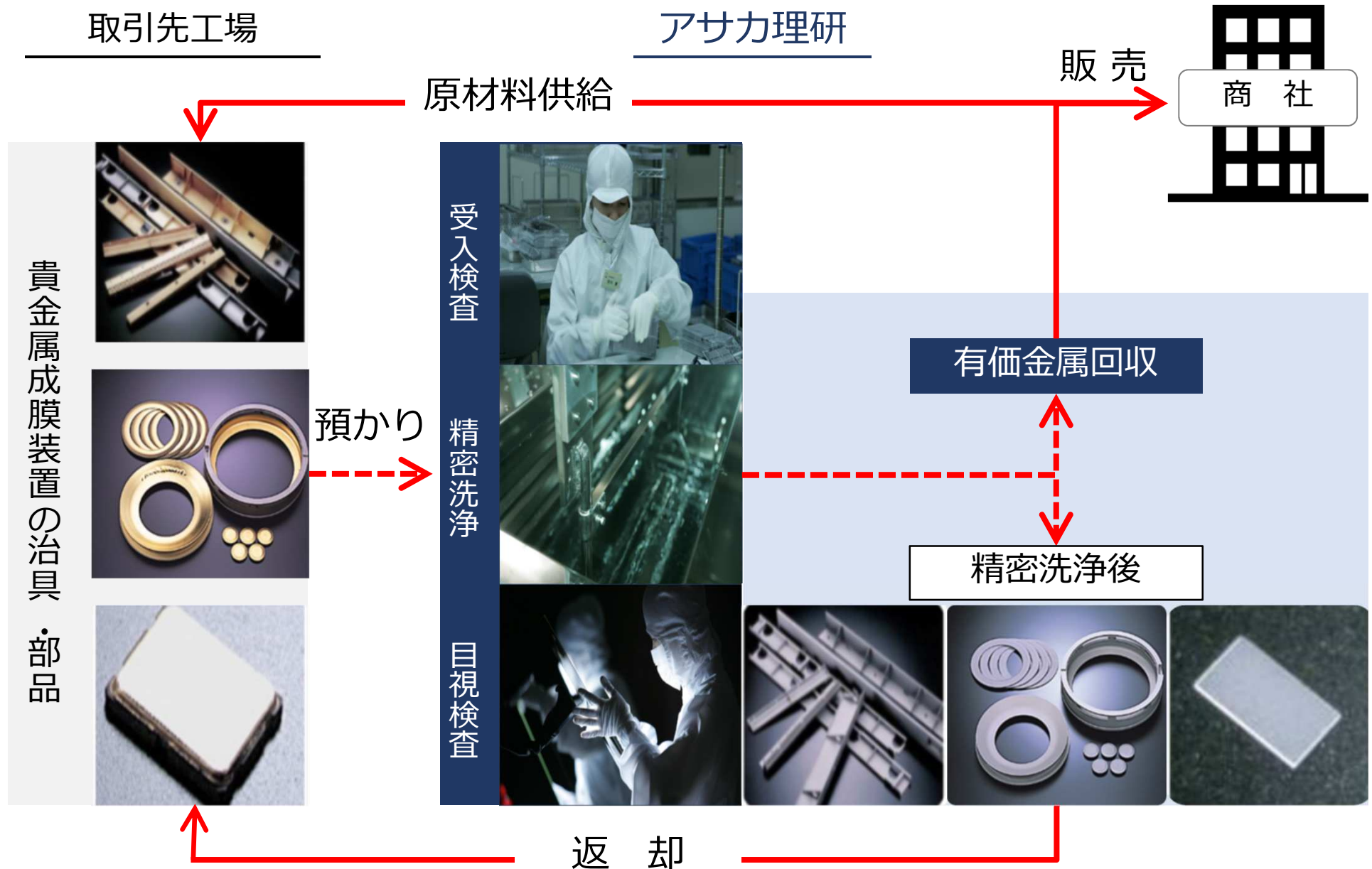
# 回収事業 - 不要物から有価金属を回収

取引先工場

アサカ理研



# 洗浄事業 - 治具・部品の機能再生



## 2 レアメタル事業

# 持続的な成長を果たすために

## 経営の課題

### 貴金属事業の業績動向に左右される

- 電子部品・デバイス業界の生産動向
  - 最終製品の需要動向等
- 貴金属相場の影響
  - 政治的要因や経済情勢等
- 製品における貴金属の使用量
  - 技術革新による使用量の減少懸念

## 成長戦略

### 事業ポートフォリオの再構成

- 既存の経営基盤を更に強化する
  - 付加価値向上、事業領域拡大
- **成長が見込める産業への参入**
  - **需要の増加が見込める産業**

# レアメタルとは

## 安定供給の確保が政策的に重要な非鉄金属

- ✓ 地球上の存在量が稀
- ✓ 技術的理由で抽出困難
- ✓ 経済的理由で抽出困難

1																	2	
H																	He	
3	4											5	6	7	8	9	10	
Li	Be											B	C	N	O	F	Ne	
11	12											13	14	15	16	17	18	
Na	Mg											Al	Si	P	S	Cl	Ar	
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
K	Ca	Sc	Ti	V	Cr	Mn	Fe	Co	Ni	Cu	Zn	Ga	Ge	As	Se	Br	Kr	
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	
Rb	Sr	Y	Zr	Nb	Mo	Tc	Ru	Rh	Pd	Ag	Cd	In	Sn	Sb	Te	I	Xe	
55	56	*	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	
Cs	Ba	*	Hf	Ta	W	Re	Os	Ir	Pt	Au	Hg	Tl	Pb	Bi	Po	At	Rn	
87	88	**	104	105	106	107	108	109	110	111	112							
Fr	Ra	**	Rf	Db	Sg	Bh	Hs	Mt	Ds	Rg	Cn							
			57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	
			*	La	Ce	Pr	Nd	Pm	Sm	Eu	Gd	Tb	Dy	Ho	Er	Tm	Yb	Lu
			**	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103
			**	Ac	Th	Pa	U	Np	Pu	Am	Cm	Bk	Cf	Es	Fm	Md	No	Lr

■ レアメタル  
■ レアアース

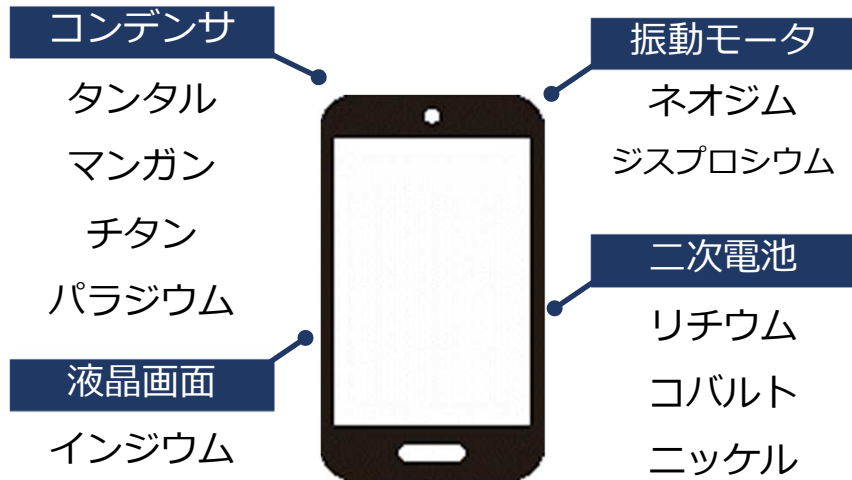
※経済産業省による定義



最先端部品に使用

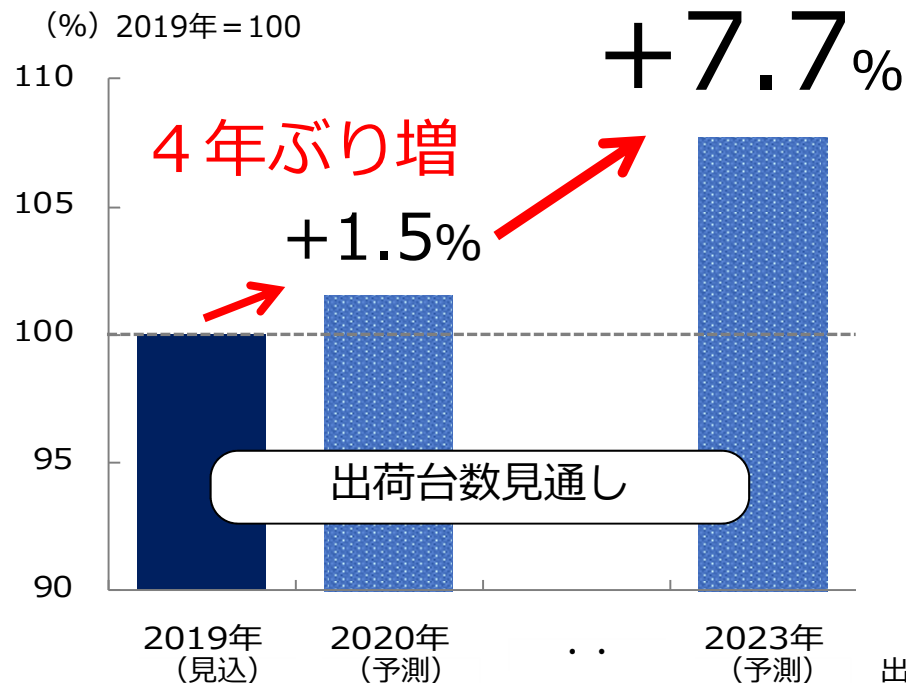


# 市場動向 - スマートフォン



## 2019年

- 市場は縮小傾向
  - 機能成熟
  - 買換えサイクル長期化



## 2020年～

- 再び成長軌道へ
  - 5G対応端末増加
  - 5Gサービス拡大

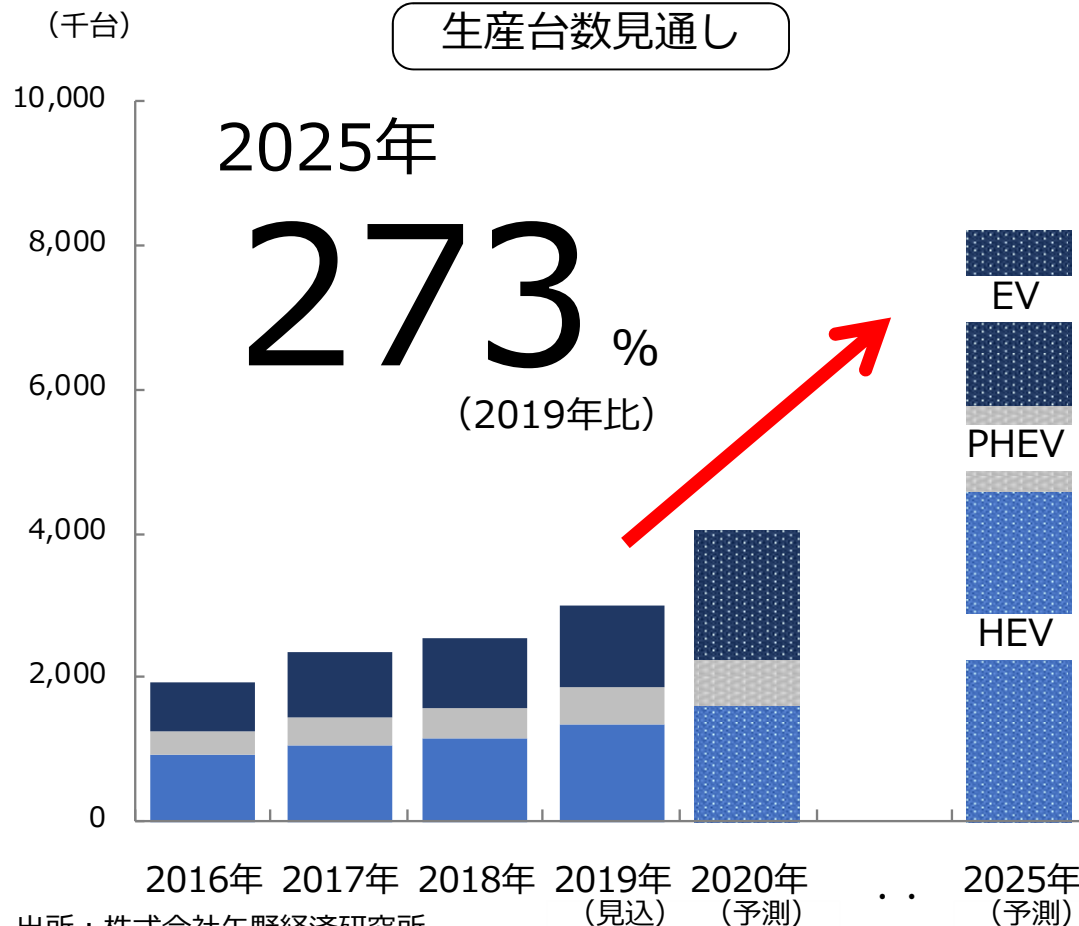
出所：日本経済新聞



# 市場動向 - xEV

※xEVはEV（電気自動車）PHEV（プラグイン・ハイブリット自動車）  
HEV（ハイブリット自動車）FCEV（燃料電池自動車）の総称

- 電気自動車、ハイブリット自動車市場において大幅な増加が見込まれる



出所：株式会社矢野経済研究所

## マイナス要因

- 補助金制度改正（中国）
  - 補助金減額、支給基準引き上げ

## プラス要因

- 環境規制（中国）
  - NEV規制、CAFE導入
- 環境規制（欧州）
  - 2021年まで全ての新車のCO<sub>2</sub>排出量を95g/kmに抑える

一時的に成長率は鈍化する可能性もあるが、

# 着実に拡大

※NEV規制 = 新エネルギー車規制  
CAFE = 企業別平均燃費基準方式

# 資源の偏在性

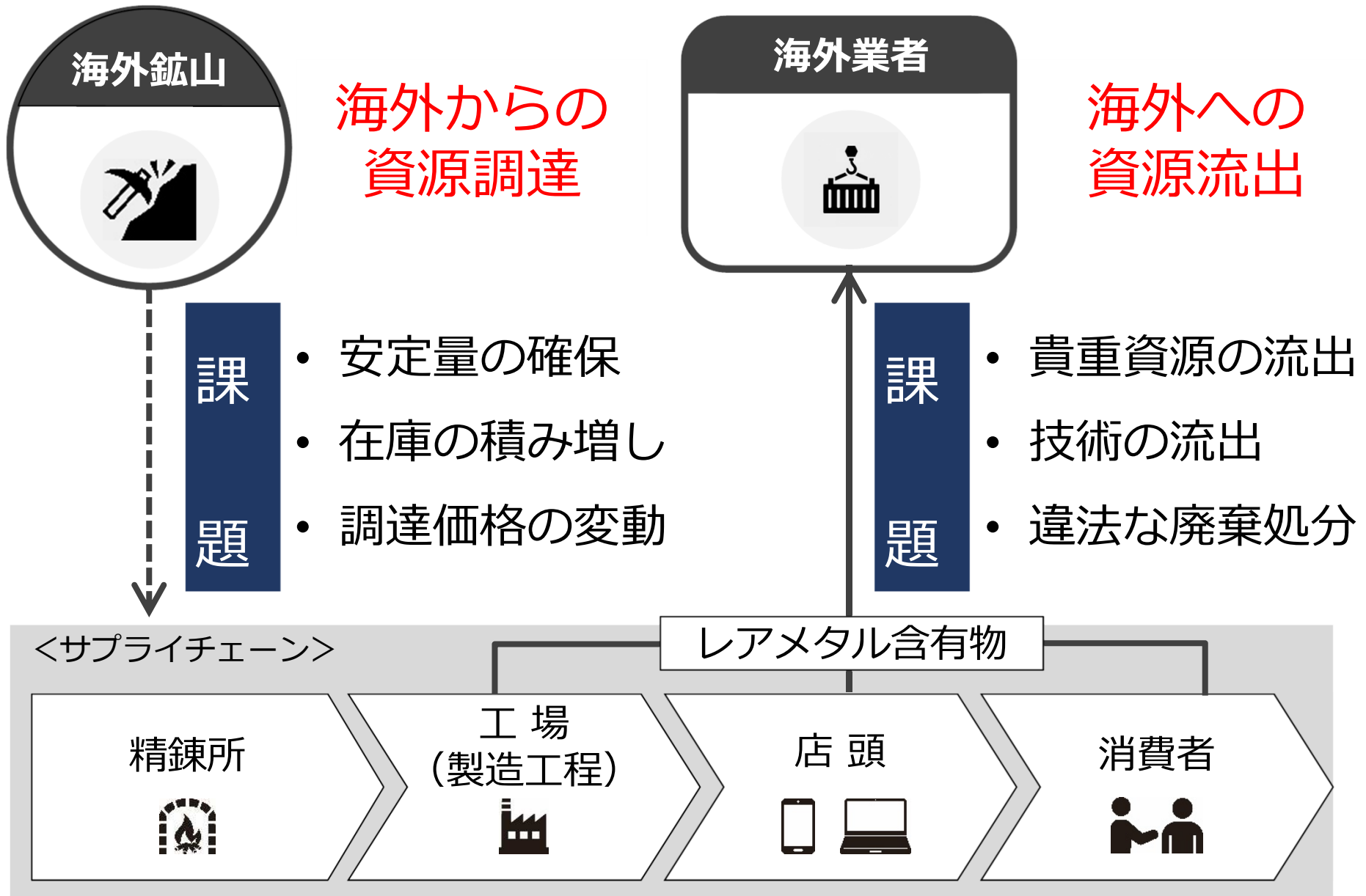


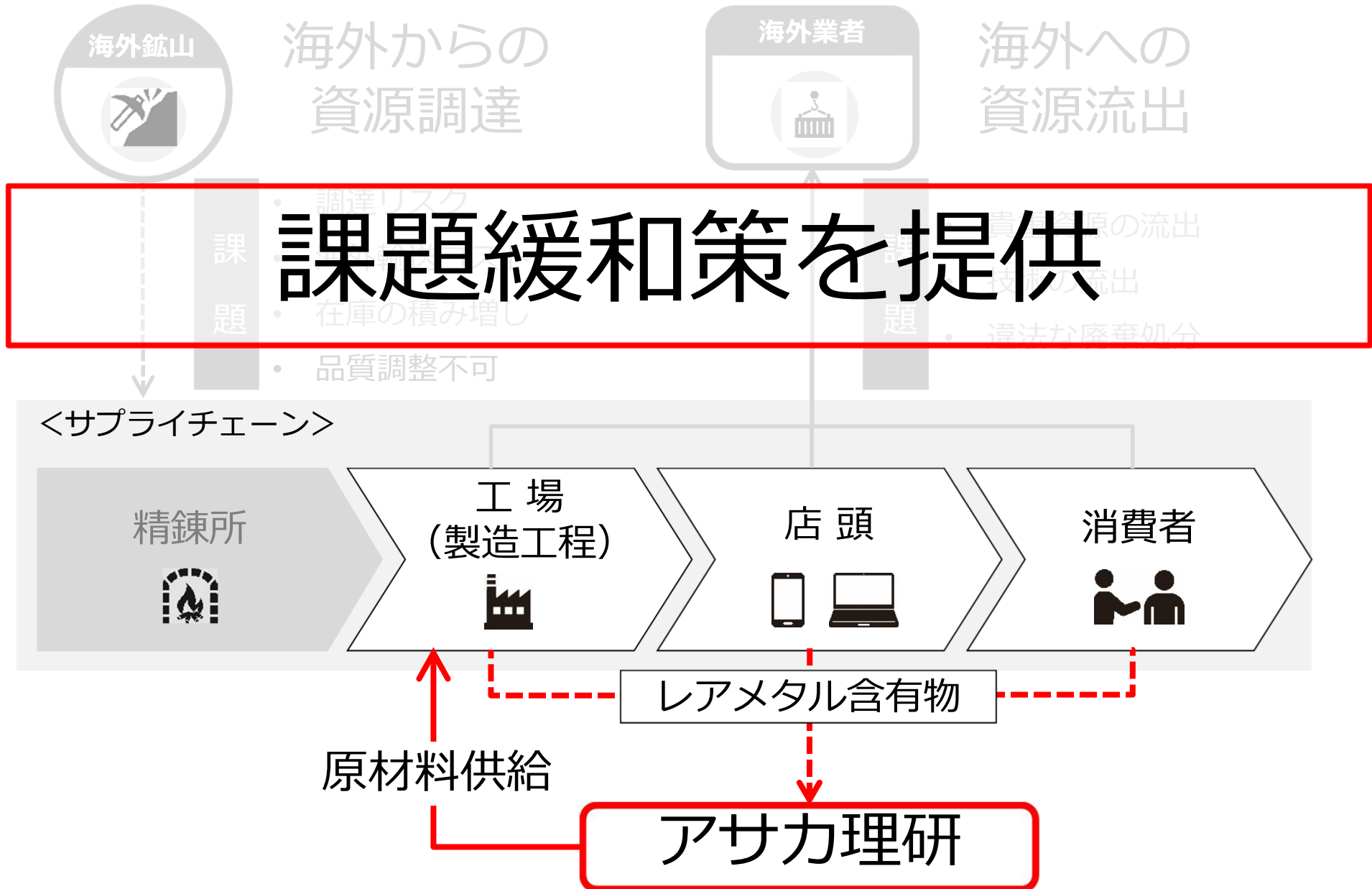
資源名	資源の上位産出国（2018年）			上位3カ国 合計シェア
タングステン	中国 82 %	ベトナム 7 %	ロシア 3 %	92 %
レニウム	チリ 55 %	ポーランド 19 %	米国 17 %	91 %
リチウム	豪州 60 %	チリ 19 %	中国 9 %	88 %
タンタル	コンゴ 民主共和国 39 %	ルワンダ 28 %	ナイジェリア 8 %	76 %
コバルト	コンゴ 民主共和国 64 %	ロシア 4 %	豪州 3 %	72 %
レアアース	中国 71 %	豪州 12 %	米国 9 %	91 %

出所 : U.S. Geological Survey

海外から調達せざるを得ない

# 課題 - 海外からの調達、海外への流出





# これまでの歩み

## 特許取得件数

8 件

(FY2013~現在)



エマルションフロー法  
実証実験成功



光学ガラス向け  
タンタル販売開始



電子部品業界向け  
タンタル販売開始

新規参入

FY2013

FY 2014

FY2015

FY2016

FY2017

FY2018

FY2019

生産技術開発  
センター設置



光学レンズからの  
タンタル回収



リチウムイオン  
二次電池からの  
レアメタル回収に挑戦



# レアメタル事業の現在地



主要部品	STEP	取り組み実績	事業環境
光学ガラスレンズ	<p>研究開発 事業展開 販売拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 五酸化タンタル販売開始</li> <li>● 新規販売先において評価試験を実施中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルカメラ向け減少</li> <li>● 車載カメラ等に使用される高品質製品は増加見通し</li> </ul>
SAW (弾性表面波) フィルタ  Surface Acoustic Wave	<p>研究開発 事業展開 販売拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存製品の純度を高めることに成功</li> <li>● 高純度五酸化タンタル販売開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマホ需要減退は底打ち感</li> <li>● 5G対応端末の普及を見据え需要回復局面へ</li> </ul>
リチウムイオン二次電池	<p>研究開発 事業展開 販売拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 量産化試験に成功</li> <li>● 二次電池材料メーカーにおいて評価試験を実施中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5G対応端末やxEVの普及で大幅な需要拡大を見込む</li> </ul>

# 3 今後の見通し

# 今後の見通し

	FY2019	FY2020	FY2021
主要取引先動向	減産継続・生産調整	下げ止まり・回復局面	拡大局面
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマホ需要一巡</li> <li>● 中国経済減速</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5G商用開始</li> <li>● 基地局整備</li> <li>● 自動車の電装化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5G本格的普及</li> <li>● スマホ買換え需要</li> </ul>

## 生産回復期を見据えた行動

### 企業体質の強化

- 貴金属材料供給
- 製造工程効率改善
- 自動化推進



### 新たな柱の構築

- 材料化技術研鑽
- 製品多様化
- 取扱い元素拡充



**競争力**  
**付加価値**



## 台風19号により近隣河川が氾濫

工場名	主力事業	被害状況	復旧状況	生産活動
本社工場	貴金属事業	●一部浸水する被害	●10/16より点検・整備の完了した工程から生産再開	●通常生産
富久山工場	環境事業	●生産設備が水没	●生産停止中 ●工場内の清掃活動、生産設備の点検等、復旧に向けた作業を継続	●代替手段により、製品供給能力は維持（一部製品除く）
いわき工場	レアメタル事業	●被害なし		●通常生産

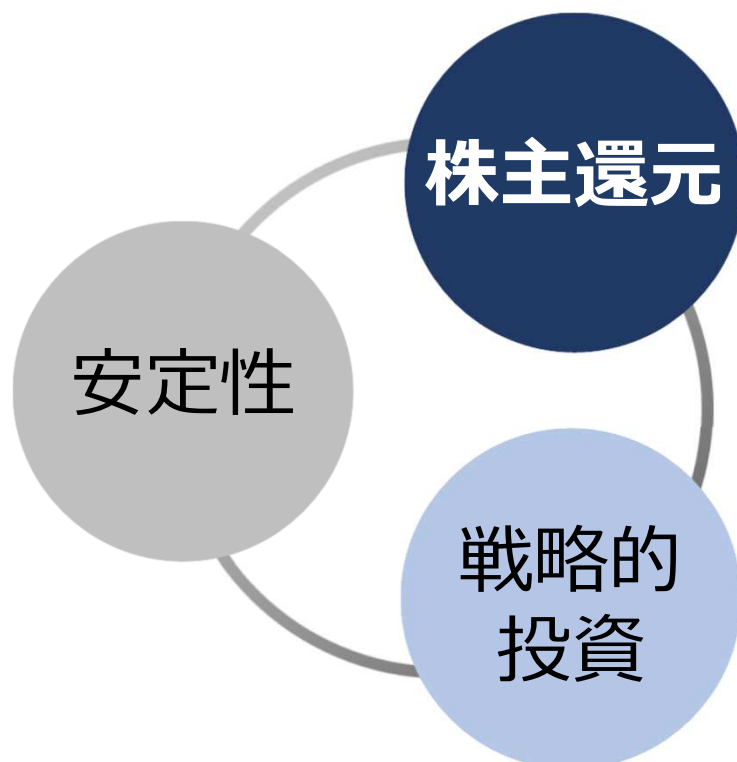
## FY2020 業績予想

- 被害状況の調査を継続しており、復旧費用や機会損失額、またそれに応じて発生する保険金収入額が未確定であることから、現段階では未定。
- 開示が可能となり次第、速やかに公表する。

# 株主利益の最大化

※上場以来、無配当なし

中長期的な企業価値向上



## 株主還元

- 株主還元は経営の重要政策
- 安定配当を継続実施

## 戦略的投資

- 競争優位性の陳腐化防止
- 成長分野の収益化に注力

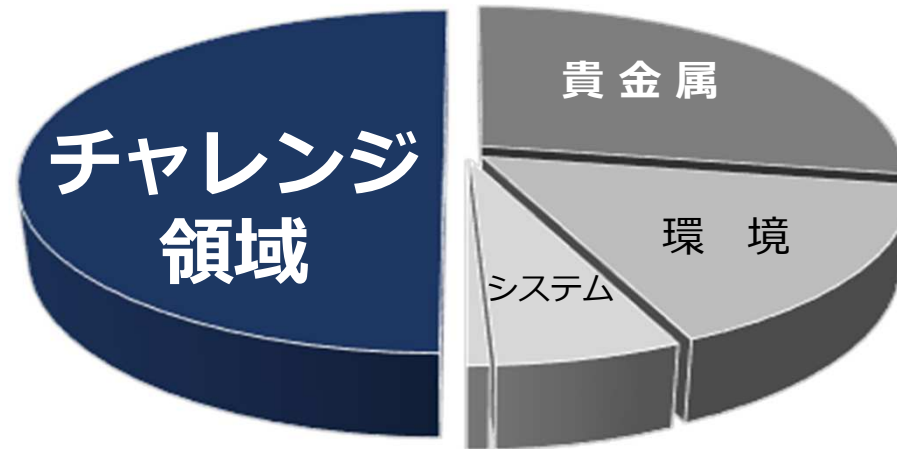
## 安定性

- 今後の事業展開に備えた内部留保の充実

# 中長期的に目指す姿

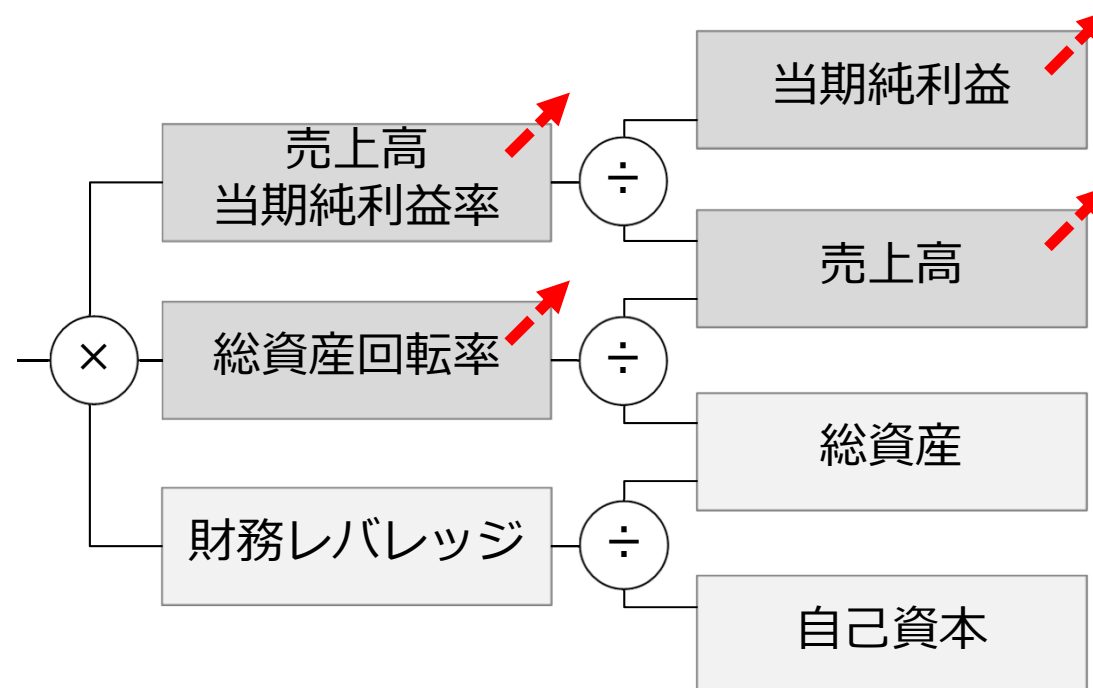
チャレンジ領域  
利益割合


50%



ROE

10%





<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社アサカ理研 管理本部

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地

TEL : 024 (944) 4744

FAX : 024 (944) 4749

E-MAIL : [ir@asaka.co.jp](mailto:ir@asaka.co.jp)

URL : <http://www.asaka.co.jp/>

- 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っておりまして今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付の申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。